

令和 4 (2022)年度					年 間 授 業 計 画					
教科・科目			地理歴史			教養社会			2 単位	
対象学年・組			3 年生			必修選択				
教科書 (出版社)										
学習目標			高等学校三年間の地歴科公民科の知識を生かして、卒業後に身に付けておかなければならない一般常識を学ぶ。							
学期		予定 時数	単元		指導内容		具体的な指導目標			
1	前半	12	古今東西の思想を学ぶ		古今東西の思想を、その社会的歴史的背景と関連づけながら整理し学習する		・ヨーロッパ・アジア古典思想 ・ルネサンスとキリスト教			
	後半	12	古今東西の思想を学ぶ		古今東西の思想を、その社会的歴史的背景と関連づけながら整理し学習する		実存主義・構造主義と現代の思想家			
2	前半	14	現代社会の諸問題		世界に存在する諸問題について知り、理解を深める		宗教問題・南北問題・差別・経済格差等			
	後半	14	現代社会の諸問題		世界に存在する諸問題について知り、理解を深める		宗教問題・南北問題・差別・経済格差等			
3		18	学習の総まとめ		今まで学習した事項を関連付けてまとめ、未来を担う青年に相応しい教養を身に付ける		現代史の様々なトピックについて触れる。			
評価の観点 (評価基準)			出席・授業での取り組み・提出物・確認テストなどがしっかり取り組んでいるかどうか。							
評価の方法			上記の観点より総合的に判断する。							
学習の手引き			「善く生きるとは何か」この問いかけに対し、自分の解答を導き出すために必要とされる様々な「地歴・公民」知識を身に付けて欲しいと思います。							
授業担当者			早稲田 弘貴							